

一般質問

市政全般にわたり17人の議員が質問
(紙面の都合により要旨を掲載)

相武台前駅の周辺整備を

鈴木議員(政和会)
相武台前駅周辺整備を
相武台前駅南口に通ずる道路の一部には、登記簿上、座間市名義になっていない道路があります。その理由は、昭和二年当時、小田急線開通に当たり公道の土地が遮断されたかたわらにつくられた道路であるからとのことです。このままにしておきますと今後の道路整備、下水道整備に支障が生じると思いますが当局の対応をお願いします。
また、バス発着場の確保に

切だと思いません。心の栄養となる道徳的価値は、親や教師がえり好みしないで、すべて心に受け入れさせなくてはなりません。心の栄養となる道徳的価値も子供が受け入れやすいように工夫することが大切で、そのために学校と家庭が連携を図って心を育てることが大切ではないでしょうか。
教育長 心を育てる道徳教育については、学校と家庭が効果的に連携しながらあらゆる機会をとらえて児童・生徒の心を育てていくことが大切であり、家庭における四季折々の習慣的な取り組み、地域社会における伝統行事や自然体験活動などを大切にしながら大人への信頼感や人への感謝の気持ちを育て、市民としてよりよい社会をつくっていくこととする意欲を高くすることが重要であると考えます。道徳的価値を実現するための実践力を培えるような教育を今後推進してまいります。

長谷川議員(政和会)
心を育てる道徳教育について
近ごろの中学生は万引きを悪いこととは思わないという声をよく聞きます。なぜこのような生徒が育ってしまったかと言えば、人間らしい心が育っていないためです。万引きは悪いことだと理解できず、教えようとしてもそれを受け入れる心が育っていません。行いの指導だけでは真の教育にならないと思います。
学校の道徳教育は学習指導要領に基づいて、よいこと、美しいこと、正しいことの価値を大切に心を育てることになっています。この心を育てるには、思いやりや感謝などの道徳的価値を心にとっさり受けさせることが大

心を育てる道徳教育を

い。また、道路拡幅に伴う家屋の建てかえ等について、建築指導、助成はどのように対応されるのか伺います。
市長 相武台前駅南口道路については、平成六年十二月に小田急電鉄と用地交換の基本協定を締結しています。民有地の買い上げを否とするものではないですが、基本的には駅周辺のまちづくりをしっかりと考えた上で対応していきたいと思えます。
支援策、助成については、建築基準法等の関係もありますが、地域の方々との十分な話し合いをさらに尽くしていくことが必要と考えています。

山本議員(政和会)
子どもの読書環境の推進について
本市では、子どもの悲惨な事件は発生していないものの市内小中学校十七校の児童・生徒の不登校は百六十二件、いじめ四十四件、暴力行為三十二件が発生しております。物質的豊かさを背景にテレビゲーム等の刺激的な電子メディアの普及により、子どもたちから本を読む機会を減少させ、その結果、想像力を奪い「生きる力」が失われつつあるのではないかと心配されます。
「青少年が本を読まない国に未来はない」とまで言われています。いままでも何回もなく提唱しております「朝の十分間読書」こそは、本に親しむ機会を与えることになり、今や全国で二万二千校に普及しております。この「朝読」は、朝の十分間、先生と一緒に学校一斉に自分の好きな本を毎日読むという極めてシンプルで、それを毎

「朝読」の普及で生きる力を

日継続的に繰り返すことにより、知らず知らず本好きとなり、想像力も豊かになり、いじめ、不登校等が激減したという実践例があります。日本に訪れた韓国の視察団がこの方法に驚嘆したということですが、本市ではなかなか普及していません。ですが、状況はどうか。また、今後の対応についてお聞かせいただきたい。
教育長 「朝読」は指摘のように極めて教育効果の高い方法であり、平成十七年に一校、さらに今年度から、小学校一校、中学校二校が毎日実施しております。そして、週三回程度実施している学校が十校など着実に普及しており、今後とも普及啓発に努めていきたいと思えます。

上沢議員(公明党)
子育て支援について
わが国の総人口は、明治以降第二次世界大戦の一時を除き、初めて減少に転じました。平成十六年の出生数百十

安斉議員(自民党明政会)
市長の政治姿勢について
キャンブ座間への米陸軍第一軍司令部移転問題に関し、最近の新聞報道等により、本市以外に容認ムードが広まっているとのことです。
米軍再編問題で一番危険と騒がれていた米海軍横須賀基地への原子力空母配備について、横須賀市議会自民党会派は受け入れを決定し市長に具申。また、公明党も受け入れを前提に米側と具体的な話し合いに入ってもよいと思えます。さらに、横須賀市最大会派である新政会の代表は、個人的な意見として「現在は安全対策がとられており、言われるほど危険ではない」と

米軍再編の容認を

最終報告は承服できない
中澤議員(日本共産党)
キャンブ座間の基地強化・恒久化反対について
日米両政府は、キャンブ座間への米陸軍第一軍司令部を改変した新司令部UEXの配備と、それに伴う陸上自衛隊の海外派兵専門の中央即

待機児童の解消策を
少子化対策として、児童手当等の経済的支援はもとより、「親の働き方の見直し」や「地域の子育て支援」の必要性が社会全体の問題として認識され、全ての施策が素早く同時に講じられなければならない事態になっています。そこで、当市の保育所運営について伺います。待機児童の地域格差と待機の多い一歳

て、横須賀市議会自民党会派は受け入れを決定し市長に具申。また、公明党も受け入れを前提に米側と具体的な話し合いに入ってもよいと思えます。さらに、横須賀市最大会派である新政会の代表は、個人的な意見として「現在は安全対策がとられており、言われるほど危険ではない」と

決算審査の早期認定を
稲垣議員(公明党)
決算審査の早期認定について
本市における決算審査は、毎年十一月に臨時会を招集して、議会が決定した予算が適正に執行されたかどうか審査し、そして決算の各種資料に基づいて、その行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって行政効果を評価の上、決算認定を行っています。

コメント。財界でも「原子力空母を受け入れるべきだ」との見解のようです。そして、相模原市においても土地が返還された場合の評価を試算しているとのことで、常に反対してきた各自治体の首長は条件をつけ米軍再編について容認ムードであります。市長も方針を変えないと県央では孤立してしまつと考えますが、市長の見解を伺います。
市長 米軍再編に関する各自治体の取り組みについては、

私も報道等で把握をさせていただいてあります。真意については十分ではありませんが、相模原市長も基地の強化・恒久化は反対であると明確に話されています。たとえ私が県央の中で孤立したとしても信念を通すこと以外何も考えておりません。
将来に向けて基地の強化・恒久化解消が具現化できる方策を国から責任を持って示していただくことが第一であると考えます。

化に反対する自治体と住民の声を無視した強権的決定であり、強要するのは民主主義と無縁なものであり許しがたいものです。キャンブ座間への新司令部の移転は、米の陸海・空・海兵隊の四軍司令部が日本にそろうことになり、地球規模での前方配備戦力の司令塔の役割を果たすことになり。そして、本市を米の殴りこみ部隊の根拠地に激変させるだけでなく、陸上自衛隊中央即応集団とUEXが連携し海外へ展開する部隊を指揮する日米共同司令部が